

英語に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析

- ◇記述式の問題も含め、無回答率は全国平均と比べても少ない。
- ◇聞くことに関しては、全国平均を上回っており、話し手が複数であっても1人であってもきちんと必要な情報を聞き取ることができている。
- ◇書くことに関しては、全国平均を上回っており、事実や理由、考えをまとめて書くことができている。
- ◆読むことにおいて、文と文の関係性を正確に捉えたり、文章の概要を捉えたりすることに課題がある。

指導改善のポイント

聞くこと

- 自分の置かれた状況などを判断して、必要な情報を聞き取る力の育成
リスニングを行う前提として、立場や役割などを具体的に指定し、その状況下で必要となる情報をきちんと聞き取る力を養っていく必要がある。場面設定のされているリスニング課題を日頃から行うことやALTとの授業の際に指示や説明を英語で行うことを生徒にたくさん経験させることが大切である。

読むこと

- 自分の置かれた立場や状況から判断して、情報を読み取る力の育成
筆者の立場や状況を理解し、その状況や条件を満たすものは何かを考えながら読み取る力が求められる。例えば、日程や時間帯などから必要なもの、不必要なものを整理しながら読む力を養っていくことが大切である。
- 文章を読み、そこから概要を捉える力の育成
段落内の文と文の関係性を整理しながら読み取る経験を増やし、文章の概要を捉える力を養っていく必要がある。また、Retelling活動などを通して、自身で文書の概略を他者に説明する経験をさせ、重要な点をどのように伝えるのかや重要な部分をどのように扱うのかを学ぶことで読むことの力の育成にもつながってくる。

書くこと

- 自分の置かれた状況を判断し、それに応じた文章を書く力の育成
自由作文の練習ももちろんだが、設定された状況に適した文章を書く力が求められる。相手に合わせて文章表現を変えたり、相手に合わせた内容を書いたりするなどの練習を授業の中で行うことが大切である。
- 日常的な話題や社会的な話題に対して自分の考えやその理由を書く力の育成
一定量の文章を読み、そこから自分の意見を見出し、考えや理由を順を追って書く経験を授業を通して行う必要がある。I agree. や I disagree. などの定型文から始め、考えや理由を少しずつ増やしていく練習を授業内で行い、何に対しても自分の意見を述べることを養っていく。口頭でのやりとりから始め、即興的に意見を述べるようにする。その後、文章で表現させ、書いて表現するときのルールや表現を指導していく必要がある。

話すこと

- 即興的に自分の意見を述べることや伝え合うことを練習する授業の充実
事前に原稿などを用意して行う発表には慣れている生徒が多い。しかし、課題を急に与えられ、その場で即興的に回答する経験が少ないため、経験を積ませる必要がある。また、課題の提示方法もリスニングによる提示、リーディングによる提示など状況に応じて変えるなどの工夫が求められる。普段の授業から短時間で良いので定期的に行うことが求められる。

